

# 第13回土木合同セミナーを開催しました！

## テーマ「災害対応ネットワーク構築に向けて

### ～台風第10号からの復旧 官民一体となった取組～

#### 土木合同セミナー実行委員会事務局 盛岡広域振興局土木部

平成28年12月7日(水)、「エスポワールいわて」において、第13回土木合同セミナーを開催し、237名のご参加をいただきました。

セミナーでは、台風第10号災害をテーマに、調査により明らかになった被害状況や応急対応に尽力された各現場の状況などについて報告をいただきました。



#### 「台風第10号による被災概要について」

県土整備部 八重樫弘明 河川港湾担当技監



被害状況の概要や復旧の今後の見通しなどを報告。「再度災害を防止するためにも改良復旧事業等を導入して対応したい。河川の拡幅、河床掘り下げも年度内着工。今月に事業実施方針の決定を予定。」

#### 「国道106号(区界～新川)における災害応急対応」

岩井建設(株) 工事部 現場代理人 工藤史拓 氏



約70kmの区間、16日間、応急対応した各現場の状況を報告。「土地勘がない場所での作業で、迂回路が分からず苦労した。事前に地元企業と連携することが重要。」

#### 「国道455号二升石地区における災害応急対応」

(株)遠忠 代表取締役 遠藤忠臣 氏



「盛岡～岩泉間の通行止めを一刻も早く解除させるとの思いで、盛岡地区の19社が連携し、3交代24時間体制で応急対応した。局職員の常駐により、すぐ相談でき、力の結集で乗り越えることができた。」

#### 「災害現場におけるドローン3D空間計測の実際

～i-Constructionを見据えて～



(株)昭和土木設計  
ICT推進室リーダー 佐々木高志 氏  
久慈に向う国道281号等の災害現場でのドローン3D計測映像などを紹介。大規模災害調査等で本領を発揮する技術。



#### ～現地災害対策本部長として～

盛岡広域振興局 浅沼康揮 局長

災害応急対応などに対する建設業への感謝の思いを語り、着の身着のまま現地に着任した状況も報告。「さまざまな面で県民の安全・安心な暮らしを確保する上で建設業がいかに地域に貢献しているか丁寧にアピールしていくことが必要。」

#### 主催 土木合同セミナー実行委員会

- 岩手県盛岡広域振興局土木部
- (公財)岩手県土木技術振興協会
- (株)日刊岩手建設工業新聞社
- (一社)岩手県建設業協会盛岡支部
- (一社)岩手県測量設計業協会
- (一社)岩手県土木技術センター